

大阪港港湾計画書（素案）

— 軽易な変更 —

令和6年10月

大阪港港湾管理者
大阪市

本計画書は、港湾法第三条の三の規定に基づき、

- ・ 平成31年2月 第66回大阪市港湾審議会
- ・ 平成31年3月 交通政策審議会第74回港湾分科会

の議を経、その後の変更については、

- ・ 令和2年1月 第67回大阪市港湾審議会
- ・ 令和2年2月 交通政策審議会第78回港湾分科会
- ・ 令和2年3月 第68回大阪市港湾審議会
- ・ 令和5年1月 第72回大阪市港湾審議会
- ・ 令和5年11月 第73回大阪市港湾審議会
- ・ 令和6年2月 第74回大阪市港湾審議会
- ・ 令和6年3月 交通政策審議会第92回港湾分科会

の議を経た大阪港の港湾計画の軽易な変更をするものである。

目 次

変更理由	1
港湾施設の規模及び配置	2
1 専用埠頭計画	2
2 外郭施設計画	2
土地造成及び土地利用計画	3
1 土地利用計画	3
その他重要事項	4
1 港湾の再開発	4
2 将来構想	4

変更理由

開発事業者の要請に対応するため、夢洲地区において、専用埠頭計画及び外郭施設計画を新たに位置付ける。また、専用埠頭の計画に合わせ、水際線を含むウォーターフロント空間と一体となった質の高い港湾空間の形成を図るため、土地利用計画を変更する。そのほか、夢洲地区の北側における事業計画の具体化に伴い、利用形態の見直しの検討が必要な区域及び将来構想（係留施設）の位置付けを変更する。

また、大阪府の要請に対応するため、西地区において専用埠頭計画を新たに位置付ける。

港湾施設の規模及び配置

1 専用埠頭計画

1－1 夢洲地区

開発事業者の要請に基づき、専用埠頭を次のとおり計画する。

小型栈橋 1基〔新規計画〕

1－2 西地区

大阪府の要請に基づき、専用埠頭を次のとおり計画する。

小型栈橋 4基〔新規計画〕

2 外郭施設計画

港内の静穏を図るため、外郭施設を次のとおり計画する。

2－1 防波堤（波除）

夢洲地区 波除堤 延長90m〔新規計画〕

土地造成及び土地利用計画

港湾施設の計画に対応するとともに、多様な機能が調和し、連携する質の高い港湾空間の形成を図るため、土地利用計画を次のとおり変更する。

1 土地利用計画

(単位：ha)

	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	危険物取扱施設用地	緑地	合計
夢洲地区	(74)	(81)	(26)			(26)		(88)	(295)
	74	81	26		96	26		88	391

注1) () 内は港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に特に密接に関連する土地利用計画で内数である。
 注2) 端数処理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。
 注3) 今回の変更にかかる地区についてのみ記述した。

その他重要事項

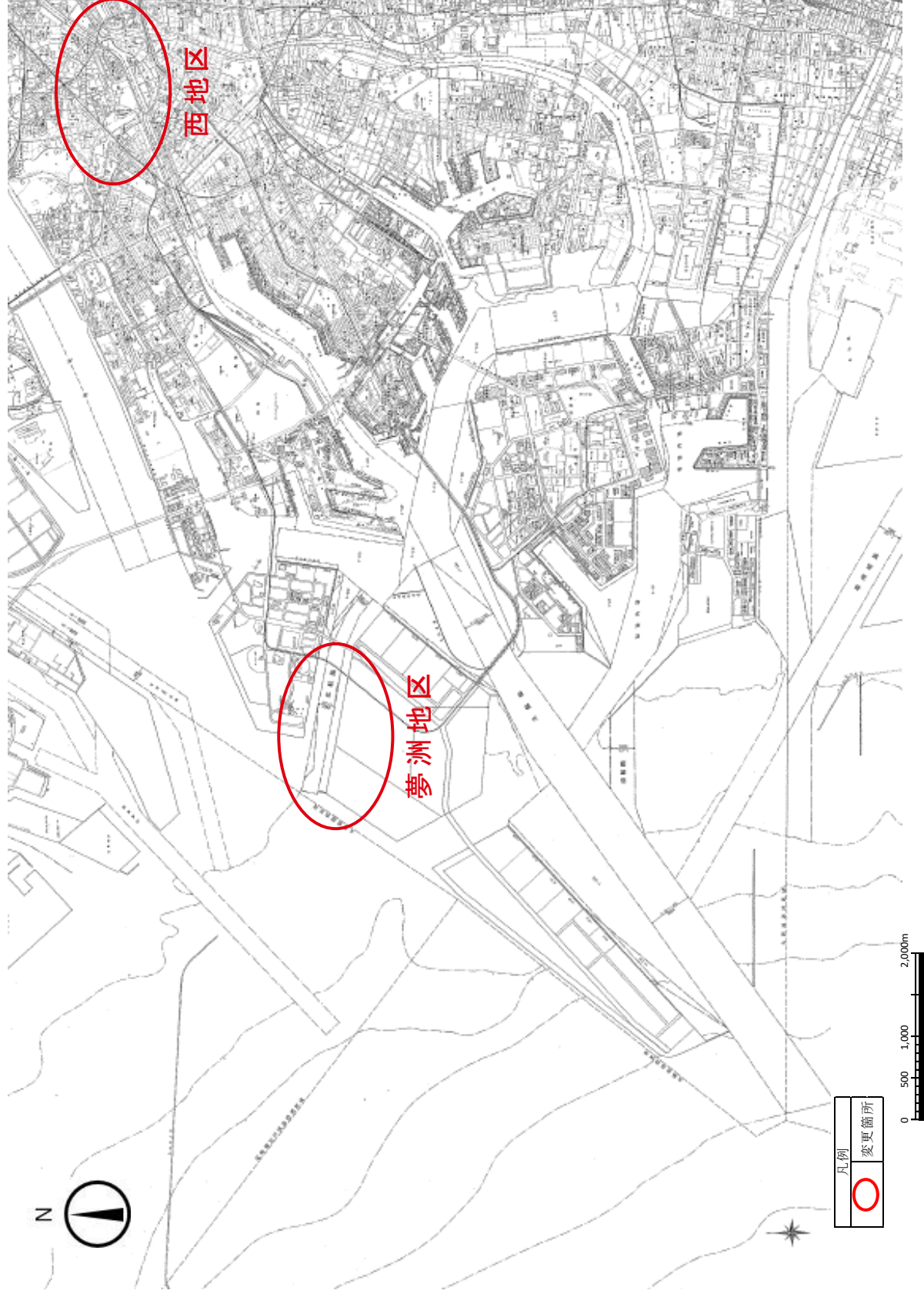
1 港湾の再開発

夢洲地区北側において、係留施設計画の具体化が進み、土地利用計画の見直しを行うことから、「利用形態の見直しの検討が必要な区域」を変更する。

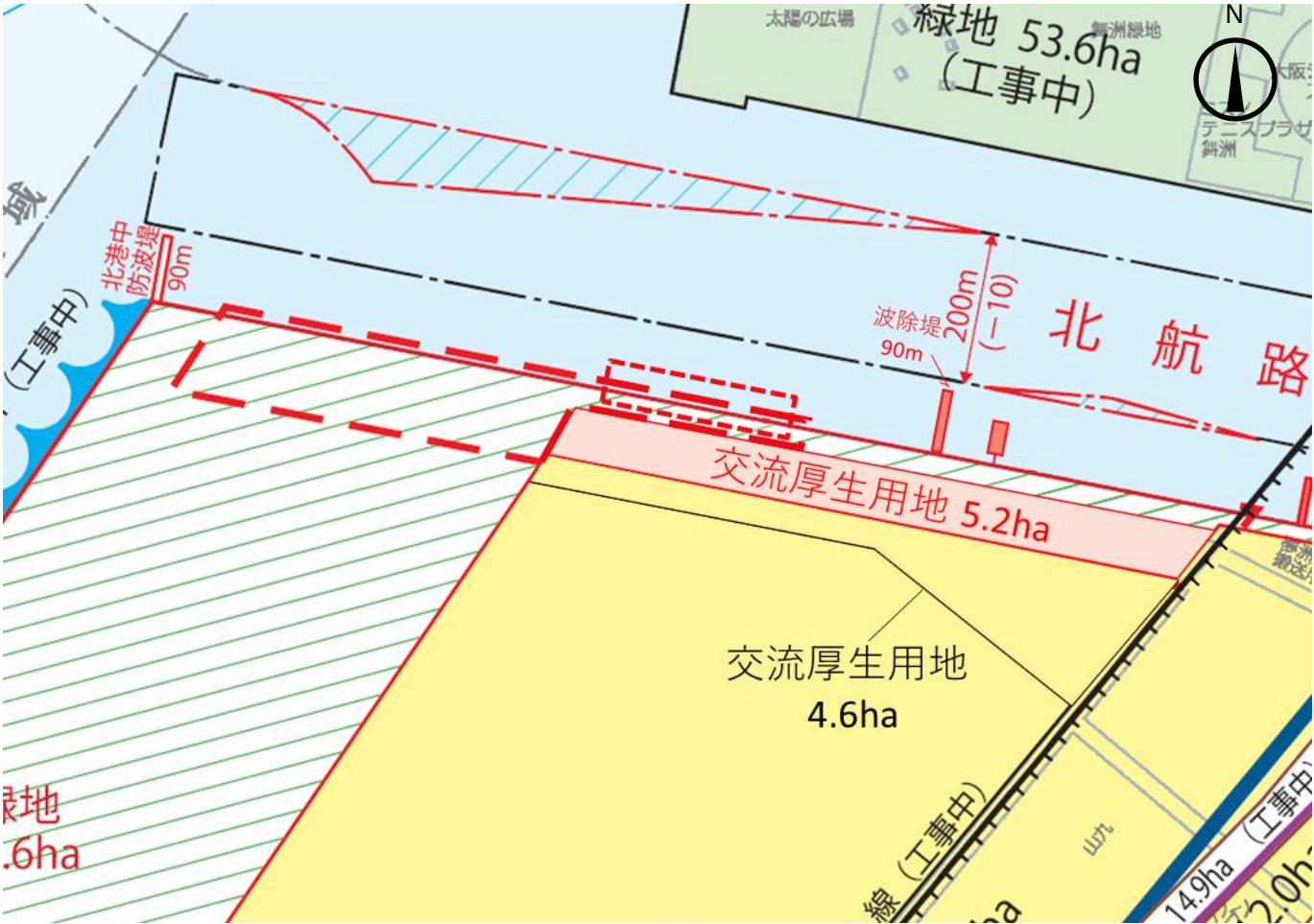
2 将来構想

夢洲地区北側において、係留施設計画の具体化に伴い、「将来港構想（係留施設）」を変更する。

大阪港港湾計画位置図



大阪港港湾計画図

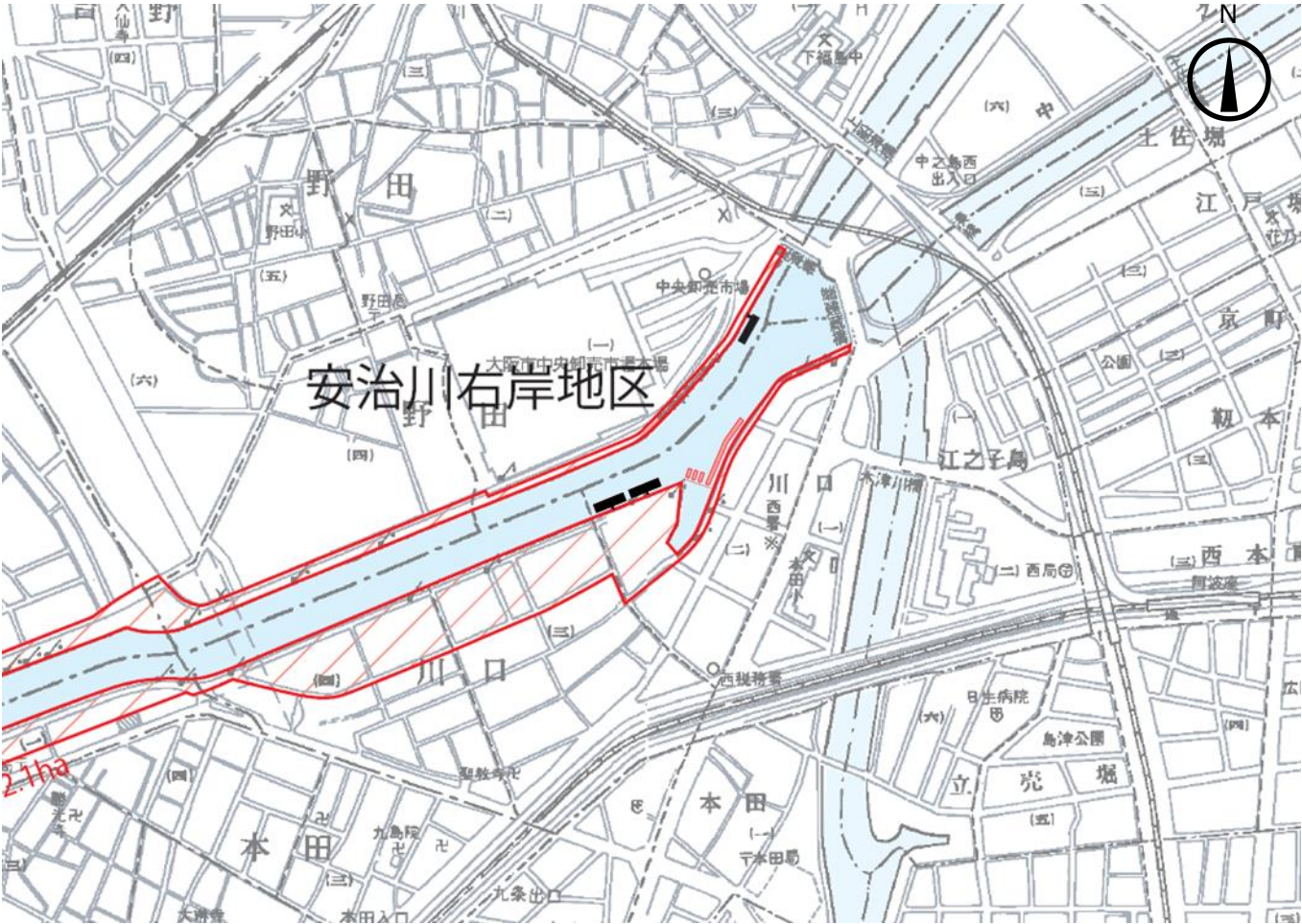


凡 例		
	航 泊 路 地	(既 定 計 画)
	航 路 ・ 泊 地	(既 設)
	外 郭 施 設	(今 回 計 画)
		(既 定 計 画)
	小 型 棧 橋	(今 回 計 画)
	緑 地	(既 定 計 画)
		(既 設)
	交 通 機 能 用 地 (臨 港 道 路)	(既 設)
	鉄 道 ・ 軌 道	(既 設)
	そ の 他 の 用 地	(今 回 計 画)
		(既 設)
	海 浜	(既 設)
	利 用 形 態 の 見 直 し の 検 討 が 必 要 な 区 域	
	将 来 構 想 (係 留 施 設)	

風の頻度分布図 観測点：国際フェリーターミナル船客上屋
(大阪港) 観測期間：令和5年1月～12月

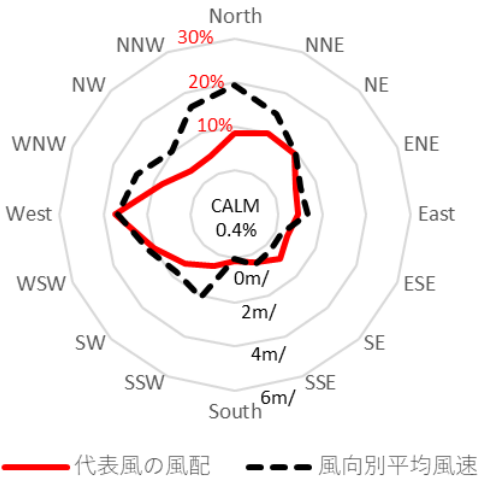


大阪港港湾計画図



凡 例		
	外 郭 施 設	(既 設)
	公 共 岸 壁	(既 設)
	物 資 補 給 岸 壁	(既 設)
	公 共 物 揚 場	(既 設)
	小型栈橋	(今 回 計 画)
		(既 設)
	公 共 岸 壁	(既 設)
	埠 頭 用 地	(既 設)
	緑 地	(既 設)
	緑 地	(既 定 計 画)
	交 通 機 能 用 地 (臨 港 道 路)	(既 設)
	そ の 他 の 用 地	(今 回 計 画)
		(既 設)

風の頻度分布図 観測点：国際フェリーターミナル船客上屋
(大阪港) 観測期間：令和5年1月～12月



1:10,000

